

差圧スイッチ (ピストンアクチュエーター)

SZ□□□PD (SPDT) / SZ□□□PDW (DPDT)



特長

- 2つの異なる圧力間の差圧を検知するスイッチです。当スイッチは、差圧設定だけでなく、接断差の設定が可能になっています。
- 油圧に適したSUS420Fピストンを採用。また、エチレンプロピレンシールタイプのピストンも選択可能です。
- 0.2~20.5MPaのレンジに対応。
- マイクロスイッチにはSPDT標準容量型のほか、微弱負荷型(DC24V用)、密閉型(耐環境型)があります。また、DPDTマイクロスイッチもご用意しています。*詳細は56ページ
- CCC、UL、CSA認定品。
(ただしSPDTの微弱負荷型・密閉型およびDPDTは、UL、CSA認定品はありません。ランプ付はCCC認定品はありません)

マイクロスイッチタイプ	型式	レンジ MPa (kgf/cm ²)	接断差* Hp,Lp 圧力差増大で動作 MPa (kgf/cm ²)	差圧設定範囲 Hp,Lp 圧力差低下で復帰 MPa (kgf/cm ²)	定格圧力 連続して使用 できる最高圧力 MPa (kgf/cm ²)	耐圧 MPa (kgf/cm ²)
		MIN. - MAX.	MIN. - MAX.	MIN. - MAX.		
SPDT	SZ070PD	0.2-7 (2-70)	0.3-1.3 (3-13)	0-7 (0-70)	7 (70)	35 (350)
	SZ210PD	0.5-20.5 (5-205)	0.7-3.8 (7-38)	0-20.5 (0-205)	20.5 (205)	70 (700)
DPDT	SZ070PDW	0.2-7 (2-70)	0.3-1.3 (3-13)	0-7 (0-70)	7 (70)	35 (350)
	SZ210PDW	0.5-20.5 (5-205)	0.7-3.8 (7-38)	0-20.5 (0-205)	20.5 (205)	70 (700)

- SPDT、DPDT各々のタイプに接断差固定型があります。
- 接断差固定型の接断差は、接断差調整型のMIN.の値以下になります。
- MIN.の接断差は、差圧設定範囲のほぼ中間圧力での値を表示しています。シールドピストンのため、差圧設定範囲の中間圧力より低圧では表示の値よりやや小さく、高圧側ではやや大きくなります。
- SPDT、DPDT各々のタイプにエチレンプロピレンシールタイプのピストンもあります。
- 本体側面にPT1/8のドレン配管口を設けてありますので、わずかな滲み出しでも許容されない環境においては、あらかじめドレン配管をしてご使用ください。ドレン排出口は、大気圧に開放してください。

型式	最小接断差 MPa (kgf/cm ²)		
	低圧領域	中間領域	高圧領域
SZ070PD	0.3 (3)	0.4 (4)	0.6 (6)
SZ210PD	0.6 (6)	0.9 (9)	1.2 (12)

* シールドピストン方式であるこれら2機種種の最小接断差は、動作圧力に応じ表のように変化します。

SZ070PD / PED
SZ210PD / PED

質量 約1.40kg

